

<p>〔科目名〕 教養演習</p>	<p>〔単位数〕 4単位</p>	<p>〔科目区分〕 演習科目</p>
<p>〔担当者〕 鈴木郁生</p>		<p>〔授業の方法〕 演習</p>
<p>〔演習テーマ〕 実験と体験から学ぶ心理学—記憶の不思議</p>		
<p>〔演習内容〕</p> <p>あなたは自分の「こころ」の働きを理解していますか？ 自分のことのはずですが、「こころ」を知ることは結構難しいものです。そして、この「こころ」の不思議さを解き明かそうとするのが、本演習で学ぶ認知心理学です。この演習では認知心理学の中でも、特に記憶に注目して、「こころ」の不思議な現象について考えていきます。最近の心理学は、デジャヴ、のどまで出かかっているのに思い出せない(TOT)、頭の中で音楽が勝手に流れる(INMI)、授業中に別のことを考えてしまう(マインドワンダリング)など、一昔前なら研究できなかった現象を取り扱えるようになりました。演習での活動を通して、こうした新しい不思議現象についてもしっかり学んでみたいと思います。</p> <p>授業の流れ</p> <p>教員が紹介するテーマに関する参考文献を紹介します。そして、参考文献を通してそのテーマについて学びつつ、そこに出てくる実験・調査あるいはそれに関連する実験・調査を実施します。すると、データが得られますから、それを分析してみます。どんな結果になるでしょうか。この結果を踏まえて、ゼミの皆さんとディスカッションを行います。予想と異なる結果になることもありますし、実験方法の不備な点が見えてくることもあります。ときには、新しい実験・調査を提案してくれる学生もいます。そして、実験の結果や考察をA4一枚程度にまとめます。この流れを一つのテーマごとに行い、認知心理学に対する理解を深めてもらいます。</p> <p>予定しているテーマ(変更することもあります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングメモリ ・音楽の無意図的想起 ・マインドワンダリング ・デジャヴ ・フォールスメモリ <p>本演習の特徴は、文献読解に限らず、「こころ」の不思議を実際に体験することです。そのために、心理学的な実験や実習を実施します。やはり、実際に体験すると理解度が違いますし、新たな気づきが生まれることもあります。演習を通して「こころ」という自分の中のフィールドをしっかりと探究してもらいたいと思います。</p> <p>高校生向けではありますが、「夢ナビ」も紹介しておきます。予定しているテーマの一つですし、心理学の導入としてはわかりやすいと思います。</p> <p>URL: https://doug.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2024004438?is-show-question</p> <p>QRコード: </p>		
<p>〔科目の到達目標〕</p> <p>記憶の心理学的現象への理解を深める。そして心を測定し分析することを通して、認知心理学の考え方を身につける。</p>		

〔ディプロマ・ポリシー (DP)との関係〕						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
	○	○	○			
〔前提条件〕 特にありません。						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業への参加状況、参加態度、および各テーマにおける課題を総合的に評価します。 各課題において、実験結果に至る道筋については十分な理解を求めますが、そこからの考察は自由です。						
〔教科書等〕 教科書は使用しません。参考書は随時紹介します。						
〔実務経歴〕 該当しません。						
授業スケジュール						
時期	テーマと内容					
4月～5月	心理学研究法 記憶の研究法について学びます。これにより、どうやって記憶・こころを測定するのか、どう分析するのか、についての基本的な考え方を身につけてもらいます。					
6月以降の春学期	各テーマについての学習と体験 教員が紹介するテーマについて、実際に体験を通して探求します。 予定 ワーキングメモリ、記憶の失敗事例など。					
秋学期	各テーマについての学習と体験 春学期に引き続き、教員が紹介するテーマについて、実際に体験を通して探求します。 予定しているテーマ 音楽の無意図的想起、マインドワンダリング、フォールスメモリなど。					